

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 9 月 17 日 (2020.9.17)

【公表番号】特表 2020-523911 (P2020-523911A)
 【公表日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-031
 【出願番号】特願 2019-569485 (P2019-569485)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 76/15 (2018.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 16/26 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 76/15

H 0 4 W 72/04 1 1 1

H 0 4 W 16/26

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 25 日 (2020.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信方法であって、

通信ネットワークにおける第 1 ノードと第 2 ノードを動作させるステップであって、前記第 1 ノードはマスタノードであり、前記第 2 ノードはセカンダリノードであり、前記第 1 ノードまたは前記第 2 ノードのうち一方は、P D C P エンティティが配置されるパケットデータ変換プロトコル (P D C P) サブレイヤを有するデータ無線ベアラ (D R B) のためのアンカーノードであり、前記第 1 ノードまたは前記第 2 ノードのうち他方は、前記 D R B のための非アンカーノードである、ステップ、

前記アンカーノードにより、サービス品質 (Q o S) フローと前記 D R B との間のマッピング関係を決定するステップであって、前記マッピング関係は、前記 P D C P サブレイヤ上に配置された前記アンカーノードの別のエンティティによって管理される、ステップ、

前記アンカーノードにより、前記 Q o S フローと前記 D R B との間の前記マッピング関係を前記非アンカーノードに対して送信するステップ、

を有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記 D R B は、第 1 ノードセルグループのためのベアラを有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記 D R B は、第 2 ノードセルグループのためのベアラを有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記 D R B は、第 1 ノードセルグループと第 2 ノードセルグループとの間のスプリットベアラを有する

ことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記方法はさらに、
前記アンカーノードにより、ベアラのDRB識別子(ID)を決定するステップ、
前記アンカーノードにより、前記DRB IDを前記非アンカーノードに対して送信するステップ、
を有する
ことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項 6】

前記方法はさらに、
前記第1ノードにより、利用可能DRB IDを決定するステップ、
前記第1ノードにより、前記第2ノードを追加することを開始するステップ、
前記第1ノードにより、前記利用可能DRB IDを前記第2ノードに対して送信するステップ、
を有する
ことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項 7】

前記方法はさらに、
前記第1ノードにより、前記第2ノードが開始した変更リクエストを受信するステップであって、前記変更リクエストは、1以上の新規DRBの追加または1以上の既存DRBの削除を含む、ステップを有する
ことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項 8】

無線通信システムであって、
通信ネットワークにおける第1ノード、
前記通信ネットワークにおける第2ノードであって、前記第1ノードはマスタノードであり、前記第2ノードはセカンダリノードであり、前記第1ノードまたは前記第2ノードのうち一方は、PDCCPエンティティが配置されるパケットデータ変換プロトコル(PDCCP)サブレイヤを有するデータ無線ベアラ(DRB)のためのアンカーノードであり、前記第1ノードまたは前記第2ノードのうち他方は、前記DRBのための非アンカーノードである、第2ノード、
を備え、
前記アンカーノードは、
サービス品質(QoS)フローと前記DRBとの間のマッピング関係を決定するステップであって、前記マッピング関係は、前記PDCCPサブレイヤ上に配置された前記アンカーノードの別のエンティティによって管理される、ステップ、
前記QoSフローと前記DRBとの間の前記マッピング関係を前記非アンカーノードに対して送信するステップ、
を実施するように構成されている
ことを特徴とするシステム。

【請求項 9】

前記DRBは、第1ノードセルグループのためのベアラを有する
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項 10】

前記DRBは、第2ノードセルグループのためのベアラを有する
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項 11】

前記DRBは、第1ノードセルグループと第2ノードセルグループとの間のスプリットベアラを有する
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項 12】

前記アンカーノードは、

ベアラのDRB識別子(ID)を決定するステップ、

前記DRB IDを前記非アンカーノードに対して送信するステップ、
を実施するように構成されている
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項13】

前記第1ノードは、

利用可能DRB IDを決定するステップ、

前記第2ノードを追加することを開始するステップ、

前記利用可能DRB IDを前記第2ノードに対して送信するステップ、
を実施するように構成されている
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項14】

前記第1ノードは、

前記第2ノードが開始した変更リクエストを受信するステップであって、前記変更リクエストは、1以上の新規DRBの追加または1以上の既存DRBの削除を含む、ステップ
を実施するように構成されている

ことを特徴とする請求項8記載のシステム。